

環境イノベーション学研究科の概要 — Overview

研究科名称	環境イノベーション学研究科		博士前期課程	博士後期課程
専攻名称	環境イノベーション学専攻	入学定員	20名	4名
学位名称	博士前期課程:修士(環境科学)	初年度学費(予定)※	¥1,070,000	¥1,020,000
	博士後期課程:博士(環境科学)	2年次以降学費(予定)	¥800,000	¥750,000

※入学金を含む。本学の学部から大学院へ、本学の博士前期課程から博士後期課程へ進学する場合、入学金は免除となります。

アドミッション・ポリシー — Admission Policy

入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。

博士前期課程

1

グリーン・デジタル社会を実現する環境創造力と、その社会実装の実現に資する科学コミュニケーション能力により課題を解決する意欲を有する者。

2

地域から地球規模の多様な環境問題の解決に向けて、幅広い学問分野に対する関心を持ち、あるべき社会のビジョンについて考える意欲を有する者。

3

設定したビジョンに対する課題や解決策を考え、実現に向けて取り組む意欲を有する者。

4

設定したビジョンや提案した解決策について、研究者、企業、行政、地域住民等と対話・調整する意欲を有する者。

5

大学院での修学に必要な基礎学力を有する者。

博士後期課程

1

グリーン・デジタル社会を実現する幅広い環境科学の見識と先進的な環境科学の探究力を有し、社会実装に向け自ら牽引していく意欲を有する者。

2

地域から地球規模の多様な環境問題の解決に向けて、幅広い知識を論理的に整理でき、課題解決を志向したビジョン設定を主体的に進める意欲を有する者。

3

設定したビジョンに対する課題や解決策を提案し、実現に向けて主体的に取り組む意欲を有する者。

4

設定したビジョンや提案した解決策について、研究者、企業、行政、地域住民等と対話・調整することで、自ら社会実装を図る意欲を有する者。

5

環境科学分野における高度な知識と自立した研究活動を推進する情熱と意欲を有する者。

類似する他大学の大学院研究科・専攻 — Other Similar Majors

- 東京都市大学大学院 環境情報学研究科 環境情報学専攻
- 芝浦工業大学大学院 理工学研究科 システム理工学専攻 (地域環境システム専攻)
- 日本大学大学院 生物資源科学研究科 生物環境科学専攻

Access

東洋大学 川越キャンパス

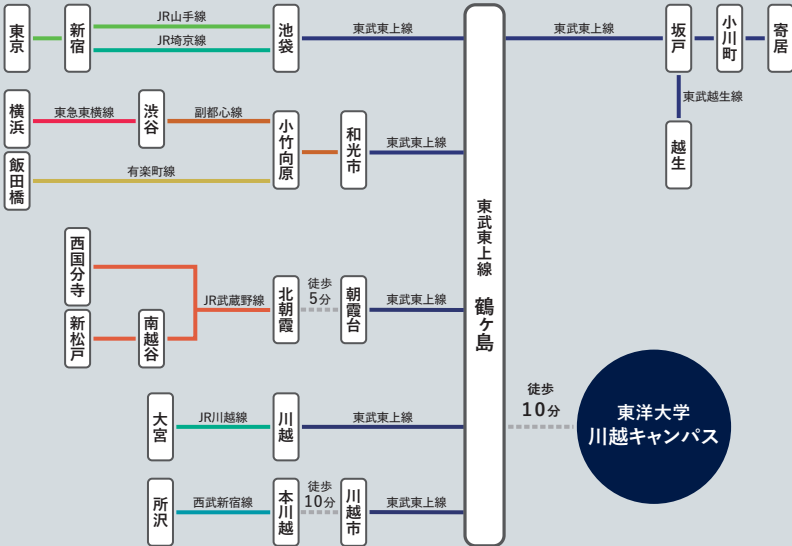
〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100

東武東上線鶴ヶ島駅より
徒歩約10分

アクセスの詳細はこちら ▶



<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/about/campus/access/>



東洋大学 大学院 | 川越キャンパス

環境イノベーション学研究科

GRADUATE SCHOOL OF ENVIRONMENTAL INNOVATION

博士前期課程・博士後期課程



2027年4月 開設予定※ (設置構想中)



東洋大学

お問い合わせ

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100 TEL:049-239-1300 (代表)

※本リーフレットは「環境イノベーション学研究科開設に関するアンケート調査」および「人材需要等に関するアンケート調査」に回答する際の参考情報提供を目的としたものです。
※2025年10月現在、設置構想中。研究科の名称は仮称であり、計画内容は変更となる場合があります。

環境イノベーション学研究科について

2027年4月、川越キャンパスに「環境イノベーション学研究科」を開設します。

学内外との連携を通じて環境科学への多様な見識と先進的な探究力を身につけ、複雑化する環境問題解決へのビジョンを描き、持続可能性と強靱性を両立する社会の実現を力強くリードする人材育成を目指します。

川越キャンパスを象徴する「こもれびの森」の豊かな自然環境と、エネルギー消費実質ゼロを目指すZEB (Net Zero Energy Building) 仕様の新校舎を最大限に活用し、環境科学を基礎に先端的なテクノロジーを取り入れた教育研究を展開します。



基礎となる学部「環境イノベーション学部」も同時に開設予定 (2027年4月)

詳細はこちら ▶ <https://www.toyo.ac.jp/env/>



環境イノベーション学研究科が養成する人材像

博士前期課程

持続可能性と強靱性を両立する社会を目指し、幅広い環境科学の見識と先進的な環境科学の探究力を兼ね備え、地域から地球規模の多様な環境問題の解決に向けたビジョンを描き、その解決策を自ら提案し、ステークホルダーとの合意形成を図ることができる「**環境イノベーション実践力**」を有する人材の育成を目的とする。

「**環境イノベーション実践力**」を有する人材を育成するため、修得させる資質や能力

- ✓ 各分野における専門性だけでなく他分野とのつながりを考慮し、地球環境や持続可能性について分野横断的な知見を俯瞰して捉え、社会実装へと導く**幅広い環境科学の見識**。
- ✓ 持続可能性と強靱性を両立する社会を目指し、バックキャストにより課題を設定し、柔軟な思考によりその解決に向けた**先進的な環境科学を探究する能力**。
- ✓ 地域から地球規模の多様な環境問題の解決に向けたビジョンを描き、その解決策を提案し、**ステークホルダーとの合意形成を実践していく能力**。

博士後期課程

持続可能性と強靱性を両立する社会を目指し、自立した研究活動を推進することにより、地域から地球規模の多様な環境問題の解決に向けたビジョンを描き、その解決策を自ら提案し、実現に向けたステークホルダーとの合意形成を主体的に図ることができる「**環境イノベーション実現力**」を有する人材の育成を目的とする。

「**環境イノベーション実現力**」を有する人材を育成するため、修得させる資質や能力

- ✓ 各分野における専門性だけでなく他分野とのつながりを考慮し、地球環境や持続可能性について分野横断的な知見を俯瞰して捉え、主体的に社会実装へと導く**幅広い環境科学の見識**。
- ✓ 持続可能性と強靱性を両立する社会を目指し、バックキャストにより課題を設定し、柔軟な思考によりその解決に向けた**先進的な環境科学を探究する能力**。
- ✓ 地域から地球規模の多様な環境問題の解決に向けたビジョンを描き、その解決策を提案し、**主体的にステークホルダーとの合意形成を実現していく能力**。
- ✓ **自立した研究活動を推進できる能力**。

カリキュラム・研究分野

環境イノベーション学研究科では、環境科学をベースとしてデジタル技術や学際的なアプローチを取り入れ、複数の分野にまたがる幅広い知見の獲得と高度な専門性の探求を目指します。リアリティーのある環境問題を取り扱う**授業科目(コースワーク)**と、専門性の高い**研究指導(リサーチワーク)**を連携して学ぶことで、博士前期課程では環境イノベーションを自ら実践していく能力を、博士後期課程では持続可能な社会の実現を推し進める能力を獲得します。

授業科目 (コースワーク)				
博士前期課程	環境科学総合分野	環境科学探究分野	環境科学解析分野	環境科学連携分野
	環境イノベーション特論 資源・エネルギー特論 エネルギー解析特論 エネルギー学特論 水環境学特論 環境生物学特論 地球科学特論 環境教育学特論	地球環境学特論 資源循環特論 環境生態学特論 環境保全管理特論 環境分析特論 環境ビジネス特論 エコデザイン特論 環境倫理学特論	環境科学 シミュレーション特論 環境情報技術特論 環境データ解析特論 環境プロセス特論	サイエンス コミュニケーション特論 環境生活特論 環境心理学特論 環境政策学特論 環境まちづくり特論
				サイエンス・ イングリッシュ特論 プラズマ物理学 ナノサイエンス
環境科学特別輪講I～IV (各研究室にて実施)				
博士後期課程	環境科学特殊研究I～VI (各研究室にて実施)			

研究指導 (リサーチワーク)			
博士前期課程	環境科学特別研究I～IV	博士後期課程	環境科学研究指導

PICK UP | Research Work

主な研究分野

持続可能で強靱性を備えた
グリーン・デジタル社会の実現へ

本研究科では環境問題の解決に向け、先端技術を駆使し持続可能な社会を企画・設計する「**環境創造**」領域と、正しい環境知識とデータに基づいた対話による合意形成を実践する「**科学コミュニケーション**」領域を柱に、幅広く多様な専門分野による研究を展開します。

環境創造

- エネルギー／環境物理
- 環境プロセス学
- 水環境
- エコライフ／環境ビジネス
- 環境システム*

科学コミュニケーション

- 環境数理／プログラミング
- 環境DX
- 環境情報
- 生物学
- 地球科学
- 環境アセスメント／環境共生*
- 科学コミュニケーション*

* …博士前期課程のみ

研究テーマ例

- 環境汚染物質の生物・物理化学的手法による処理技術の検討
- 災害を考慮した排水処理システムの研究
- ビッグデータを用いた環境改善施策の効果の推定
- 気候変動と生態系変動に関する研究
- 脱炭素社会などの地域課題解決に向けた市民参加と合意形成に関する研究
- 地球内部環境と長期環境変遷に関する研究

研究を推進するための様々な「連携」

- 各専門分野を横断した「総合ゼミ」の開催
- 分野連携による提案型プロジェクトやキャンパス横断の教育研究連携
- 他機関協定・共同研究を通じた国際交流
- 地域連携／産官学連携による環境問題への取組

主な活躍のフィールド	高度な専門性を有し、幅広い環境科学の見識と探求力を基に業界を牽引する環境人材を幅広いフィールドへ輩出します。 ● 大学・研究機関・民間企業の研究部門 ● 環境分析、環境コンサルタント ● エネルギー、水処理、リサイクル、総合建設業 ● 情報・IT、商社、金融業 ● 官公庁、中学・高校理科教員 ● サイエンスライター、科学博物館	取得可能な資格	● 中学校／高等学校教諭専修免許状(理科)* ※博士前期課程のみ。 ※中学校／高等学校教諭一種免許状(理科)を取得済みである必要があります。
------------	---	---------	--

* …2027年度開設に向けて申請予定。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期および内容が変更となる可能性があります。